

# ①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-236	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ・711	EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ Standard		

<h3>1. 編修の基本方針</h3> <p>編修の基本方針として、日常的な話題、社会的な話題について、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばすこと、また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。</li> <li>2. 言語材料に関しては、中学校および「論理・表現Ⅰ」との連携を考慮して基本事項の定着を重視するとともに、その基礎を活用して論理的な英語表現の能力を伸ばすことが可能となるよう選定した。</li> <li>3. 「書く」「話す」の生産的2技能を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の受容的2技能とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が幅広い言語活動に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。</li> </ol> </div> <p>上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身につけ、積極的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。</p>
--

2. 対照表		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し English Punctuation	英語の句読法について正しい知識を習得させ、標準的な英語における適切な表記を追究する姿勢を養う。(第1号)	前見返しⅠ・Ⅱ
後見返し Sustainable Development Goals 一覧	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することを意識できるよう配慮した。(第3号)  平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)	後見返しⅢ・Ⅳ  写真全般
Part 1 Lesson 1~8, Part 2 Lesson 1~7	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	7~98 ページ

	<p>自己表現活動を通じて，創造性・自主性を養う。（第2号）</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため，男女・人種などにおいて，偏りが生じないように配慮した。（第3号）</p> <p>言語の働き（機能）を念頭におき，様々な場面で相手の存在を意識して，より効果的なコミュニケーションを図る力を培う。（第1号）</p> <p>個人を尊重し，自主性を養い，職業などを意識させる題材を採用した。（第2号）</p> <p>他者と協力することの重要性や社会へ主体的に参画し，発展に寄与する態度を養う。（第3号）</p> <p>自然を大切にし，資源の節約を主題にした教材により，環境保全に寄与する姿勢を養う。（第4号）</p> <p>美しい自然や文化財を保有する日本の名所を紹介し，郷土を慈しむ心を養う。（第5号）</p> <p>社会的な問題等について理解を深め，それを実現することで，社会の一員としての責任意識を高める。（第2号）</p>	<p>Task 2 (9, 11 ページほか) Goal (9, 11 ページほか) What do you think? (12 ページほか)</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>7～98 ページ</p> <p>84～85 ページ 93～98 ページ</p> <p>81～86 ページ 93～98 ページ</p> <p>19～24 ページ</p> <p>13～17 ページ</p> <p>74 ページ</p>
<p>Further Activity 1～4</p>	<p>パラグラフ構成や展開について基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。（第1号）</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため，男女・人種などにおいて，偏りが生じないように配慮した。（第3号）</p>	<p>100～107 ページ</p> <p>100～107 ページ</p>
<p>スピーチをしてみよう</p>	<p>英語でスピーチをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。（第1号）</p>	<p>108～109 ページ</p>

プレゼンテーションをしてみよう	英語でプレゼンテーションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	110～111 ページ
ディベートをしてみよう	英語でディベートをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	112～113 ページ
ディスカッションをしてみよう	英語でディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	114～115 ページ
Expressions Plus	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	116～123 ページ
Useful Expressions	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	124～126 ページ

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### I. 教科書の特色

##### A. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の能力を段階的に伸ばす構成

1. トピック別の章立てで、目的や場面に応じたさまざまな表現を身につけて、「話す」「書く」という表現活動につなげることができる構成になっています。
2. 正課(Part 1, Part 2)では、「話す」活動を中心とした“Let’s speak about…”を見開きの2ページで、「書く」活動を中心とした“Let’s write about…”を2ページで扱い、それぞれに設定している目標(Goal)に向かって段階的に力をつけることができる構成になっています。
3. 巻末の Further Activity では、パラグラフの構成や支持文の展開の仕方を学習し、論理的な文章を書くことを目標にしています。

##### B. 課末では自分の意見を述べる活動へと展開

課末の What do you think?では、論題に対して自分の考えを述べる活動を行うことができます。ディスカッションやディベートにつながる活動です。

##### C. スピーチ・プレゼンテーションやディベート・ディスカッションなどの解説

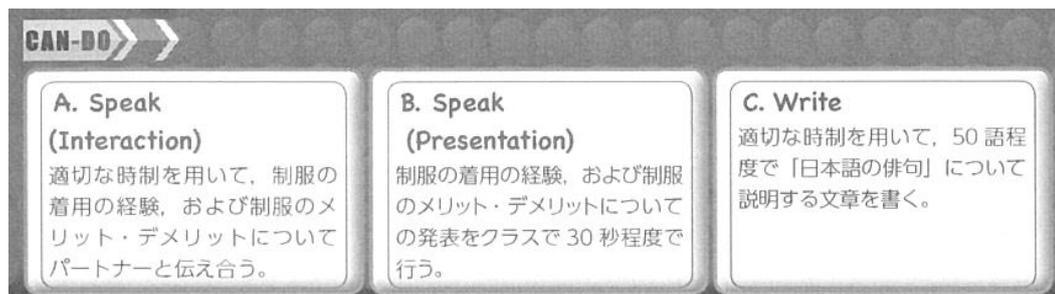
スピーチ・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッションの進め方など、比較的高度な言語活動についてもわかりやすい例とともに解説しています。

#### II. 各課の構成

##### A. 正課：表現の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

###### 1. 導入ページ

- a) 各課で学んで達成する目標を3領域に分けて提示しています。



- b) トピックに関連した写真描写などのリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動を行います。

## 2. Let's speak about... (「話す」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：写真やグラフ，表など情報を含む素材と，各課のトピックに関連する会話文を掲載しています．会話文に出てきた重要表現は，Basic Expressions / Functional Expressions で取り上げています．

**★ Basic Expressions**

- **Time flies. (I.3)**  
⇒ 現在の状態，習慣，事実・不変の真理やことわざを表すときは，動詞の現在形を用いる。この Time flies. は英語のことわざで「光陰矢のごとし」の意味。
- **It has been a year since you came to Japan. (I.3)**  
⇒ 「～から…(時間)が経過した」と表すときには，It has been ... since ～. の形を用いる。
- **I had seen school uniforms in anime before I came to Japan. (I.6)**  
⇒ 「(過去のある時点までに)～したことがあった」と，「過去のある時点までの経験」を表すときには，(had + 過去分詞) の形を用いる。

 See page 116  Expressions Plus

- b) 右ページ：左ページの会話文についての情報を整理する活動と，整理した情報を参考にしながら，機能表現を使って自分のことを表現する・ペアで話し合う活動，さらに話し合った内容について発表する・質問に答える活動を行うことができます．

## 3. Let's write about... (「書く」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：さまざまな形式の文章(メール，テキストメッセージ，ブログ，レビュー，スピーチ原稿，レポートなど)をモデル文として用意しました．モデル文に関する簡単な問題を設けています．モデル文に出てきた重要表現は Basic Expressions / Functional Expressions で取り上げています．
- b) 右ページ：モデル文を参考にして，学習した表現を用いて，自分の考えや情報について表現します．50～70語程度のまとまった文章を書く活動を行います．

## 4. 課末ページ (What do you think?)

各課のトピックに関する論題について自分の意見を表現する活動です．ディベートやディスカッションにつながる内容になっています．表現活動に使えるフレーズ例もあわせて掲載しています．

## B. 正課以外

1. 巻末の Further Activity では，パラグラフの構成と展開パターンを学習し，一貫性のある論理的なパラグラフを書く練習ができるようにしました．
2. スピーチ・プレゼンテーションやディベート，ディスカッションの進め方についての特集ページを設けました．
3. 各課の Basic Expressions / Functional Expressions で取り上げた重要表現に加えて，関連する事項を例文とともに Expressions Plus のページでまとめました．
4. 各課のテーマに関連する語句を Useful Expressions としてまとめ，表現活動に適宜使えるようなものとししました．
5. 前見返しでは，English Pronunciation として，英文を読んだり書いたりする上で役立つ基本的な句読法をまとめました．

◆教材配当表<B5判・128ページ・4色>

課	タイトル	学習事項
Part 1 Basic Expressions(文法・基礎表現)		
1	How interesting Japanese culture is! 【文化】	さまざまな時を表す
2	Wonderful places to visit in Japan 【観光】	可能・義務・必要などを表す
3	Precious water for all 【水資源】	「～される」を表す
4	What has happened recently? 【ニュース・情報】	「～すること」などを表す (to do / doing)
5	I'm into music and movies! 【映画・音楽】	doing / doneを使って説明する
6	Where do you usually buy clothes? 【ファッション】	人・物・時や場所などについて説明する
7	What kind of books do you like best? 【本】	比較を表す
8	Inventions that changed the way we live 【発明・便利な物】	仮定を表す
Part 2 Functional Expressions(機能表現)		
1	Can you come to our party? 【パーティー】	感謝する／謝罪する
2	I'm sure you can make it! 【コンテスト・発表】	心配を述べる／励ます／感想を述べる
3	How about trying this food? 【食べ物・食事】	提案する／勧誘する／好みを述べる
4	Tips for staying healthy 【健康】	助言する／忠告する
5	I'm taking part in some volunteer activities tomorrow 【ボランティア】	依頼する
6	Where would you like to live in the future? 【暮らす場所】	賛成する／反対する
7	Which candidate is the right person? 【選挙】	意見を求める／意見を述べる
Further Activity(パラグラフの構成と展開パターン)		
1	パラグラフの構成① Illustration / Listening	例示・列挙
2	パラグラフの構成② Comparison / Contrast	比較・対照
3	パラグラフの構成③ Cause and Effect	原因・結果
4	パラグラフの構成④ Time order	時間的順序・手順
	スピーチをしてみよう	
	プレゼンテーションをしてみよう	
	ディベートをしてみよう	
	ディスカッションをしてみよう	

\*その他, 英語の句読法 English Punctuation [前見返し], 表現・文法のまとめ Expressions Plus [pp.116-123], テーマ別表現のまとめ Useful Expressions [pp.124-126] を収録.

\*二次元コードにより, 各課の What do you think?のテーマ解説スライドを参考情報として提供.

# ①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-236	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ・711	EARTHRISE English Logic and Expression II Standard		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### I. 全般的な留意点

A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバリエーションに富んだ内容を取り揃えた。

B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文は英語を用いた。また、表現活動を行いやすいように、モデルとなる会話文やパラグラフを用意し、支援を与えるようにした。

C. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実に行えるように心がけた。

D. 様々な場面や状況を設定することで、多様な観点や立場からの考えや意見を引き出し、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができるよう配慮した。

### II. 教科書の構成

※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

#### 正課(Part 1, Part 2)

##### 1. 導入

①

②

③

① CAN-DO：各課で達成する目標を3領域(「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示しています。

② トビラ写真：題材への興味を喚起する写真を載せています。

③ Before you start...：写真に関するリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動で導入できます。

## 2. Let's speak about...

Let's speak about...
See page 124 Useful Expressions

**Ken and Emma are talking about school uniforms.**  
(KenとEmmaは制服について話しています)



Japan



the U.S.

**Time files.** It has already been a year since you came to Japan.

Ken: Yes. Everything was so new to me when I first arrived!

Emma: Was there anything you found particularly strange a year ago?

Ken: School uniforms! I had seen them in anime, but I had never worn one before I came to Japan.

Emma: Don't you have school uniforms in the U.S.?

Ken: Some schools do, but most don't. I took a lot of pictures of myself when I started wearing our school uniform!

Listening Quiz Q1. Q2.

**Basic Expressions**

- Time files. (Q3)
  - ⇒ 現在の状態、習慣、事実、不意の発覚やことわざを教ずるときは、動詞の現在形を用いる。このTime files. は英語のことわざで「光陰矢の如し」の意味。
  - It has been a year since you came to Japan. (Q3)
    - ⇒ 「〜から〜(期間)が経過した」と教ずるときには、It has been ... since ... の形を用いる。
    - I had seen school uniforms in anime before I came to Japan. (Q4)
      - ⇒ 「過去のある時点までに〜したことがあった」と「過去のある時点までの継続」を教ずるときには、(had + 過去分詞) の形を用いる。 See page 116

**Task 1** Complete the chart. (8 ページの会話文を読んで表を埋めてみよう)

① How long has Emma been in Japan?	She ( ) been in Japan ( ) ( ) ( ) .
② Where had she seen school uniforms before coming to Japan?	She ( ) ( ) school uniforms in ( ) before coming to Japan.
③ What did she do when she started wearing a school uniform in Japan?	She ( ) a lot of ( ) of herself.

**Task 2** Answer the following questions. (「経験」についての以下の質問に答えよう。そして、パートナーと質問し合おう)

Q1 Have you ever worn a school uniform? If you have, when did you start wearing it?

Q2 Give one advantage of school uniforms.

Q3 Give one disadvantage of school uniforms.

**Hint** Q2, Q3 p.124 of Useful Expressions の欄をセプトに、前回のメリット・デメリットを考えてみよう。

**Goal** Interaction/Presentation (⇒ p.104/09)

**Tell the class.**

(Task 3) の内容を使って発表し、それに対するほかの生徒からの質問に答えよう)

**Example**

I had never worn a school uniform before I went to junior high school. When I started wearing it, I realized some good and bad things about uniforms. One advantage is that you don't have to think about what clothes you should wear every day. However, a disadvantage is that you can't express your own individuality if you wear a school uniform.

**Check list**  Accuracy  Structure  Content (⇒ p.127)

**TRY** Do you like school uniforms? Why or why not?

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨

- ① 二次元コード：会話文と例文のリスニング、音読・発音練習を行います。
- ② 写真・資料等：各課のテーマに関連する写真や図表、スマートフォン画面、広告、ポスターなどさまざまな形式の素材を提示しています。
- ③ **Model Dialog**：テーマに関連する会話文を掲載しています。この会話文をモデルとして、やりとりや発表の活動につなげます。
- ④ **Listening Quiz**：会話文の内容に関する簡単なリスニングクイズです。
- ⑤ **Basic Expressions / Functional Expressions**：会話文に出てくる重要表現を取り上げて簡単に解説しています。
- ⑥ **Task 1**：左ページの会話文についての情報を整理しながら、重要表現も定着させます。
- ⑦ **Task 2**：Task 1 で整理した情報を参考にしながら、重要表現を使って自分のことを表現したり、ペアで話し合ったりする活動を行います。
- ⑧ **Goal**：話し合った内容について発表する活動です。また、発表した内容について質問をしたり、それに答えたりします。発表する内容の例を示して、表現活動の支援となるようにしています。また、評価するポイントとして **Check list** を掲載しています。
- ⑨ **TRY**：各課のテーマに関して自分のことを表現する活動を行います。

10-7

### 3. Let's write about...

The screenshot shows a lesson page with the following sections:

- 1 Listening Quiz:** A quiz section with questions Q1 and Q2.
- 2 Model Passage:** A text passage about Kabuki, a traditional Japanese performing art, with an image of a kabuki actor.
- 3 Task 1:** A task section with an overview question: "What is the main topic of this passage?" and a table for content analysis.
- 4 Basic Expressions:** A section listing key phrases like "Kabuki originated in the early Edo Period" and "has fascinated many people" with their functions.
- 5 Task 2:** A task section with a writing prompt: "What is haiku?" and a table for notes.
- 6 Goal:** A goal section with a writing prompt: "Write a paragraph..." and a table for writing notes.
- 7 TRY:** A TRY section with a writing prompt: "Write a paragraph..." and a table for writing notes.

- ① **Listening Quiz** : 会話文と簡単なリスニングクイズを行います。
- ② **Model Passage** (モデル文) : メール, テキストメッセージ, ブログ, レビュー, スピーチ原稿, レポートなどさまざまな形式の文章を扱います。
- ③ **Task 1** : モデル文に関する簡単な確認問題です。
- ④ **Basic Expressions / Functional Expressions** : モデル文中に含まれる重要表現を取り上げ, 簡単な解説を付けています。
- ⑤ **Task 2** : 自分のことに関する英問英答の問題です。まとまった文章を書くための準備の段階の活動です。適宜, Hints や Example を付けています。
- ⑥ **Goal** : Task 2 の内容を使ってまとまった文章を書く活動です。
- ⑦ **TRY** : 書いた内容について話し合ったり発表したりする活動につなげます。

### 4. 課末

The screenshot shows a lesson page with the following sections:

- 1 What do you think?:** A discussion section with a poll: "Do you agree with the following opinion? Manga and anime help people around the world to understand Japanese culture." and a table for self-review.
- 2 Self-review:** A self-review section with a table for self-review.
- 3 Self-review:** A self-review section with a table for self-review.

- ① **What do you think?** :  
ディベートやディスカッションにつながる活動です。日常的なものから社会的なものまでさまざまなテーマを扱います。二次元コードからテーマ解説スライドを見ることが出来ます。
- ② **語句・表現例** :  
テーマに関して自分の意見を言うための支援となる語句や表現をまとめています。
- ③ **CAN-DO Self-review** :  
導入のページで提示した目標の到達度を確認できるチェックリストを設けています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
前見返し English Punctuation	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	前見返し I・II	—
Part 1 Lesson 1～8 Part 2 Lesson 1～7	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項  (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項  (3) ① 言語活動に関する事項 ア「論理・表現 I」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと  ② 言語の働きに関する事項  内容の取扱い 「論理・表現 I」の3と同様に 取り扱うものとする。	内容(1) Basic Expressions (8, 10 ページほか) Functional Expressions (58, 60 ページほか)  (2) Model Dialog/Model Passage (8, 10 ページほか) Task 1 (9, 10 ページほか) Task 2 (9, 11 ページほか) Goal (9, 11 ページほか) TRY (9, 11 ページほか)  (3)① Task 2 (9, 11 ページほか) Goal (9, 11 ページほか) TRY (9, 11 ページほか)  ② Basic Expressions (8, 10 ページほか) Functional Expressions (58, 60 ページほか)  内容の取り扱い 上記(2)に同じ	60
Further Activity 1～4	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項  (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項  (3) ① 言語活動に関する事項 ア「論理・表現 I」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと	内容(1) Further Activity 1～4 (100～107 ページ) (2)同上 (3)同上 内容の取り扱い 同上	4

	② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い 「論理・表現 I」の3と同様に 取り扱うものとする。		
スピーチをしてみよう プレゼンテーションをしてみよう	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと [発表]	108～111 ページ	4
ディベートをしてみよう ディスカッションをしてみよう	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表]	112～115 ページ	4
Expressions Plus	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項	116～123 ページ	—
Useful Expressions	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項	124～126 ページ	—
		計	72